

同窓会だより 平成26年度第20号

夢追塾同窓会

夢追塾第9期生「公開プレゼンテーション」

生涯現役夢追塾主催 情熱あふれる9期生「公開プレゼンテーション」

日時:2月28日(土)14:00~16:00 場所:北九州まなびとESDステーション

- ☆ 第9期生が、夢の実現に向けて取り組んでいる活動について、4グループに別れて発表しました。
- ☆ 発表に先立ち、北九州市の今永副市長、社協の日野シニアネットワーク所長から、夢追塾生の地域活動への期待が述べられました。「夢追塾での学習があつて70歳で起業した同窓生の事例」の紹介もありました。関事務局長からは、人生を登山に例えて「最終登頂の段階を生涯現役で豊かな経験を活かす学びの場・夢追塾」として新しい展開、「地域をリードするシニア世代の人材育成の夢追塾の役割」との説明がありました。
- ☆ 発表後には、4ブースに別れ参加者との白熱した関係構築(仲間づくり)が行われました。(参加者122名)
- ☆ 最後に、松永北九州市立大准教授、今永副市長、奥永リビング北九州編集長、斎藤九州国際大学特任教授から講評があり、「いずれも北九州市の課題をとらえたすぐれたプロジェクト」であり「具体性と持続性」を念頭に今後の展開が期待されるとの言葉がありました。
- ☆ 同窓会からは、4名のコーディネーターはもとより、受付などのお手伝いをはじめ、30数名が参加して9期生を盛り上げました。

夢追塾同窓会長 香月 英彦

Aグループ(メンバー8名)

「ハッピーワークでゴールドポイントをゲットしよう」

地域の絆が崩壊する時代に、地域の困りごとの解決策として、高齢者同士の助け合いの仕組みである「ハッピーワーク」制度づくりで、高齢者が生きがいをもち安心して暮らせる社会にする。

コーディネーター: 2期 雨宮隆

キックオフイベント: 5月15日(会場: 交渉中)



Bグループ(メンバー8名)

「歴史遺産の中で未来を語る場プロジェクト」

八幡西区折尾は、明治に建設された「折尾駅」を改築中。黒田藩の想いをのこす「堀川運河」などの歴史の宝庫。現在の折尾の学園都市のメリットを生かした地域住民と若者の交流でこの歴史遺産を生かしたい。

コーディネーター: 6期 増本吉紀

キックオフイベント: 4月18日(会場: 生涯学習センター
折尾分館)



Cグループ(メンバー8名)

「視覚障がい者と共に作る音声情報システム」

北九州市の視覚障がい者約39,000人のうち7割が高齢者。点字を読める人2割。

いつでもどこでも気軽に情報を共有できる音声を使ったシステムを構築。

コーディネーター: 2期 村岡純

キックオフイベント: 5月24日(会場: コムシティ 7F)



Dグループ(メンバー7名)

「空き家で夢創造」

「笑顔つながるシェアスクール、アートフルなまちづくり」、空き家を拠点として地域貢献度が高く持続可能性ある活動を提案し実現する。

コーディネーター: 1期 舟谷文男

キックオフイベント: 4月11日(会場: 社会起業大学九州校)



「仲間づくりタイム～関係構築タイム～」

9期塾生のA～Dのグループが4ブースに分かれ、参加者と実際に対話する中で、それぞれのプロジェクトの説明をして参加者と塾生との関係性を深めて、参加者にもこれからのまちづくりについて考え参加するきっかけ作りができました。

我々同窓会からも30数名が参加し、9期生のプロジェクトを理解し彼らと手を携えて、高齢化社会のニーズに合わせたまちづくりに積極的に参画する意識を構築することができました。



写真撮影: 2期内尾、6期溝田 (同窓会 HP のギャラリーにもそのほかの写真があります)